



10月度の御書

しょうにんごなんじ 「聖人御難事」

意味 月々日々に、信心をふるい おこしていきなさい。少しでも 油断する心があれば、魔がつ けるすきを見つけてやっ てく るでしょう。

意味

御文

御書新版1620ページ、御書全集1900ページ) え。すこしもたゆむ心あ らば、魔たよりをうべし。 月々日々に、つより給

題目を唱えていけば、どんな魔にも負けない

やあみんな、ボクはライオン博士のキング君。 もう季節はすっかり秋だね。秋といえば、読書の秋、 スポーツの秋、芸術の秋……。

ボクは最近、海外のお友だちとお話できるよにな りたくて、「語学の秋」に挑戦中。さわやかな秋は、自 分がやりたいことに挑戦する絶好の季節だね！

でも、こういうことはないかな？ 夢や目標に向かっ て、やる気満々でいたのに「今日は気分がのらないな」 「明日でいいや」が続いて、いつのまにか最初の決意を わすれてしまう……。「今日こそがんばるぞ」と決めた日に 限って、面白そうな動画を見つけて、せっかくのやる気 がちがう方向に……。目標に向かってがんばり続けるのっ て、難しいよね。

そうやってボクたちの挑戦をじゃまする正体こそ、 今回の御文に出てくる「魔」なんだ。魔は、成長しよう とする人の心をねらって、やる気をなくさせようと、あの 手この手を使ってくる。

今までがんばってきたのに、何だか、もうやる気が出 ないな～って気持ちや、他の楽しいことに目移りしそ うな気持ちが出てくるのも、実は魔のしわざなんだ。

日蓮大聖人は、この魔に負けないために、「一日一日、 自分の心をふるいおこして前進していきなさい」と教えら れているよ。そして、心をふるいおこすためには、日々お 題目にはげむことが大事だと言われているんだ。

ボクが毎日お題目をあげる時に心がけていることがあ るよ。それはね、自分で立てた目標や決意を思い返して、 「今日は〇〇に挑戦するぞ」「明日はもっとがんばろう」っ て祈ること。今は「海外のお友だちと何でも自由に語り 合えるように」という目標を思い返して、決意をこめて 祈ると、どんなに大変な勉強もがんばれるんだ。

少しずつでも目標に向かって積み重ねた努力は、必ず 自分の夢をかなえる大きな力になるんだよ。

池田先生は語られているよ。 「一日を大切に努力したことは、苦勞も失敗も、全部が 『心の宝』となります。日記をつければ、宝物の記録です。

うまくいかない日は、題目を唱えて、明日また元気に挑 戦すればいい。月々日々に、命を燃やして学び鍛えよう！」

みんなも、なりたい自分を思いえがいて、大成長の秋 にしよう！